



第3回「学校運営協議会(三校合同会)」開催！

9月29日(金)、今年度3回目の「学校運営協議会(以下 CS)」が桜が丘小学校を会場に開催され、9名の CS 委員と3校の教職員が集いました。今回の CS 会議の主な内容は以下の三点です。

- (1) 山潟中学校区 学校保健委員会
- (2) 学校職員の働き方改革について
- (3) 山潟 CS 講演会について

初めに、「学校保健委員会」が開かれ、各校の養護教諭から子どもたちの健康の実態と指導の様子について報告がありました。報告を受けて、歯科医・松井大介様より「お口の健康について」の講話をいただきました。

その後、会場を移して「学校の働き方改革」について山潟小学校鈴木校長より現状を踏まえた提言がありました。9月末とはいえ、猛暑の中、活発な意見交換がなされ、有意義な会となりました。今後ますます地域と学校、保護者が心を合わせて児童・生徒の健全な育成をしていく事の大切さを確認しました。(1)～(3)それぞれの概要について、ご紹介します。



(1) 山潟中学校区 学校保健委員会

① 山潟中学校区の子どもの実態と健康問題

山潟中学校の高橋養護教諭から、今年度の健康診断結果の報告がありました。山潟中学校区の児童・生徒は「身長」「体重」で、男女ともに市の平均を上回っている学年が多いこと、「肥満」においては、男子(小学生から中学1年生)、女子(小学3～6年、中学2年)に「肥満傾向」が見られることが分かりました。「虫歯」ではすべての学年で市の平均を下回り良い傾向にあるが、中学生になると「歯肉炎」が多いという課題が浮き彫りになりました。コロナ禍のマスク生活で、口の中の衛生環境が悪化しているのかもしれないと歯科医の先生からお話がありました。



② 歯科保健の実態と指導について

①の課題の中から、歯科保健について各校の取り組みが報告されました。山潟小学校からは、フッ化物洗口や歯科衛生士の巡回指導でむし歯を防いだり、噛むことの大切さと歯の健康について食育と関連させて指導したりしていると報告がありました。

桜が丘小学校からは、家庭で歯みがきの親子チェックをして学校へ結果を提出したり、歯みがき大会で歯肉炎予防を啓発したりするユニークな取り組みが紹介されました。

山潟中学校からは、3年に1回の巡回指導や養護教諭の出前授業で歯肉炎予防の授業をしたり、保健だよりで検診の結果などを家庭に知らせたりしていると報告されました。

③ 山潟地区の地域歯科保健について(保健師 五十嵐ひとみ様)



今回は、山潟地区だけではなく新潟市の取り組みについて報告がありました。「新潟市では、歯の健康について生涯を通じた指導を行っている。乳幼児期から学齢期をみると、1歳半から3歳の間に虫歯になりやすい。また、中学生のむし歯は年々少なくなっているが、年齢が進むにしたがって歯肉炎の割合が多くなっている。県の平均より高い。今後の課題だと思う」と話されました。

④ 講話「コロナ禍がお口の健康に与える影響」(歯科医 松井大介様)



コロナ禍の影響について、全国の事例をあげながら詳しい説明がありました。「学校での感染予防策として、学校での歯みがき、フッ化物洗口の中止や制限、歯科検診の中止や制限が行われた。その結果、口腔環境の悪化の原因となった。お口の健康を取り戻す対策として、規則正しい生活を心がけ、可能な限りマスクを外して口の機能を高める。コロナ禍前のように歯みがきをはじめ、検診や指導を徹底していくことが大切だ。感染の不安から歯科医院の受診を控えて悪化した例もある。歯科医院で

コロナのクラスターが発生した例はない。安心して受診してほしい」と結ばれました。

(2) 学校の働き方改革について

前回のCS会議の課題に上った学校の働き方改革について、山潟小学校鈴木校長より「教員の長時間勤務を減らすために山潟中学校区で協議していただきたい。地域や保護者の皆さまの賛同を得ながら働き方改革を進めていきたい。現状考えている方向性をお伝えしたい」と、三点が示されました。

① 通知表の改革

現在、小学校で行っている2回の通知表の所見を、令和6年度からは年度末の1回とし、作成の負担軽減を図りたい。前期の学校での子どもたちの様子は個人懇談で詳しくお伝えすることで、学校と家庭と連携していきたい。

② 日課表の見直し

日課表を見直し、教材研究や学級事務の時間を確保したい。勤務時間外となっている業務についても、地域や保護者の方の了解を得ながら見直しを進めていきたい。

③ 学校行事の見直し

すべてをコロナ禍前に戻すのではなく、必要性や実情に合わせて実施していきたい。入学式、卒業式、運動会、文化祭など、どのような形で実施することがよいのか、各校の実情に合わせて吟味していきたい。



(3) 山潟CS講演会について

豊嶋会長より、コミ協から5万円、育成協から3万円の補助金をいただいたことが報告されました。また、この補助金を使って、CS主催の講演会を行いたいと提案がありました。いろいろ意見交換がなされた結果、今年度は山潟中学校の生徒向けに行う方向で、今後、協議して詳細を決めることになりました。



「CS通信」「地域と学校パートナーシップ事業」 問合せ先

*山潟中学校 Tel286-5369 (後藤 素子)

*山潟小学校 Tel286-6796 (野上 千恵子)

*桜が丘小学校 Tel286-2955 (中村 知子)

各校CS事務員まで(地域教育コーディネーター兼務)